



## 9月定例県議会

福岡県議会の9月定例議会が9月20日から10月11日までの日程で開かれました。

### 許さない！ 飲酒運転

福岡市の元職員が飲酒運転をし、一家5人の乗った車に追突、被害車両の幼児3人が死亡するという、痛ましい事故が発生したことを受け、公明党は代表質問で、飲酒運転をした公務員には厳罰化の方針で臨むよう求めました。また、住民への奉仕者として公務員の責務と行動倫理を肝に銘じるよう改めて主張しました。

これに対し麻生知事は、「今後は、酒酔い運転の場合には、原則として免職とするなど、厳しい対応で臨む。また、飲酒運転防止の実効的方法として、飲酒運転防止装置やアルコール検知器などの導入が効果的であると考えられるため、『飲酒運転防止装置等導入検討委員会』を設け、具体的導入方策等について検討していく」と答弁しました。

### 中心市街地の活性化を

また、高橋雅成議員は、中心市街地活性化法が改正され、国が認定した地域（中心市街地）への支援策が強化されるようになったことから、認定前と後の県の支援策を充実させるべきと訴えるとともに、そのための全庁横断的な支援体制を組むよう望みました。

さらに、高橋議員は、県が管理する333河川について、整備計画、管理基準、目標値を定め、計画的な管理を進めるよう求めました。

## 障害者の現状を調査

障害者自立支援法の施行で、障害者を取り巻く実情が大きく変化していることから、高橋議員は木庭健太郎参院議員、党福岡県議団、古賀市議、新宮町議とともに8月28日、福岡県新宮町にある重度身体障害者授産施設「福岡コロニー」を訪れ、障害者や施設関係者から要望を聞き、福祉工場などを視察しました。

また、10月25日には北九州市八幡西区の香西クリニックを訪問し、精神障害者の実情を聴取。11月13日には福岡市博多区の知的障害者入所厚生施設「第一いわお園」で障害者の負担増や施設の運営などについて意見交換しました。

身体、知的、精神の3障害すべてについて、障害者や施設が置かれた実情を調べることで、国や県、市町村に対し、きめ細かい施策の展開を求めていく方針です。また、木庭氏は「障害を持つ人々が、希望を持って働けるよう、全力を挙げる」と述べ、来年度予算などで必要な対策を講じていく考えを示しました。



木庭参院議員らと福岡コロニーを視察する高橋議員



## 決算特別委員会

### 県民の安全・安心のため論戦

11月に開かれた決算特別委員会で、高橋雅成議員は、エレベーターの二重安全装置 自動車税・自動車取得税 商店街活性化のための補助金制度 信号機・道路標識の管理 いじめによる自殺 の各問題について取り上げ、県当局の姿勢を迫りました。

このうち、信号機・標識の管理について、高橋議員は、博多区内での具体例を挙げながら、県民参加による管理の強化や他施設を設置する際の事前協議の取り組みなどについて促しました。



ケーブルのカバーで見えにくくなっていた信号機(右)「青? 赤?」古くなって分からない歩行者用信号機(左)。その後、両方とも改善されました

## いじめによる自殺

### 悲劇を繰り返すな

福岡県筑前町の町立三輪中学校2年生のいじめ自殺問題は、教師の不適切発言が、いじめの引き金になったと疑われており、学校と教師に対する不信と不安が高まっています。

学校現場からいじめを一掃し、真に子どもの幸福を願う教師を育てるため、公明党福岡県議団は、森山教育長に、すべての学校で徹底したいじめの実態調査を行うこと 教師の人権感覚を育成する再教育のためのシステムを再考・確立すること など6項目の申し入れをしました。



## カンボジアで地雷撤去を続ける アキー・ラーさんを激励

20年に及ぶ内戦が続いたカンボジアで、国連平和維持軍に協力し、1992年から地雷の撤去をし、国連撤退後もボランティアで地雷の撤去を続けるアキー・ラー氏(左から2人目)が、体調を壊し、福岡市内の病院に入院していました。

高橋議員は平成17年にカンボジアで同氏と出会っていたことから、入院先の病院に見舞いに訪れ、再会を喜びました。同氏は体調を回復し帰国しました。

